

EXPO2025にむけた海のSDGs会議

2023年9月23日in京北(一部オンライン)

<主宰>

京都超SDGsコンソーシアム(京都大学・京都市ほか)

セイラーズ フォー ザ シー 日本支局

東京大学FSI-日本財団海洋プラスチックごみ対策プロジェクト

笹川平和財団 海洋政策研究所

京都里山SDGsラボ(ことす)運営協議会 ほか

概要

【日時】 9月23日(土)11:15-16:50(部分参加も可能です)

【場所】 京都里山SDGsラボ「ことす」(京都市京北) & オンライン

【参加費】 オンサイトのみ3,000円(京北ブルーシーフードランチ含む)
★ボランティアを兼ねて参加して下さる学生さんは、参加費無料。申込最後のメッセージ欄にその旨をお書きください。

【主宰団体】 京都超SDGsコンソーシアム、セイラーズ フォー ザ シー 日本支局、東京大学FSI-日本財団海洋プラスチックごみ対策プロジェクト、笹川平和財団 海洋政策研究所、京都里山SDGsラボ(ことす)運営協議会ほか

【申込】 <https://forms.gle/VV8e13BdCJbNTZsz9>

ねらい

- 海の環境は、様々な危機にさらされている。課題解決に向けた取り組みも数知れず進められている。
- しかし、多角的な視点で課題を俯瞰し、一般消費者から事業者、行政、アカデミア、メディア等、また、老若男女、幅広いステークホルダーを巻き込んで議論する場は多いとは言えない。
- そこで、1)典型的な海の課題を多角的に取り上げ、2)幅広いステークホルダーに参画頂き、課題解決を加速するための場を試行・創出する。
- これまでにも、国際的イベントにおいて、各種課題解決に向け、大きく前進(ジャンプ)してきた事例がある。そこで、EXPO2025を契機に、ジャンプすることを目指し、そのキックオフ(ホップ)の場を持つ。他の様々な動きと連携し、年1~2回程度実施する想定。
- 特に今回は、食・ごみ・技術&イノベーションを主テーマとし、課題俯瞰図・モニタリング指標を設定・提案すると同時に、今後に向けた関係者のネットワークを行う。

なぜ京北の「ことす」なのか？

いけいけ、
けいほく
京都京北ナ
ビHP

海ではありません。山のど真ん中です！しかし・・・

•SDGsの実験場(ラボ)として

会場となる京都里山SDGsラボ(ことす)は、廃校を利用し、社会課題解決(SDGs)をメインテーマとする学び×仕事×交流の場です。学校のあらゆる機能(教室・音楽室・工作室・調理室など)を活用することで、充実した議論・滞在を可能とします。

•海森里のメッカとして

「海は森の恋人」・・・森里海連環学のコンセプトとして知られます。まさに、日本の海は、良い面(文化、物質循環、防災等)でも、悪い面(ごみ、汚染物質等)でも、森とつながり、里ともつながっています。京北は、鯖街道として日本海と京の都をつなぐ要所であり、また、献上鮎で知られるように、川の恵みを都に届ける供給源でもありました。

だからこそ、1300年の歴史に裏付けられた持続可能性に、新たなレガシーを。

当日スケジュール(予定)

【オンライン参加形態: **視聴**→zoomウェビナー、**参加**→zoomミーティング】

- 10:00 京都駅集合(事前お申込みの方)→チャーターバスで京北へ
※JRバスやレンタカーなどの利用も可能。京北に前泊も可能。
- 11:15-11:30 オープニング(趣旨説明など)【オンライン**視聴**可】
- 11:30-12:30 グループディスカッション(テーマ別:食・ごみ・技術&イノベーション)
【オンライン**参加**可】
- 12:30-13:20 ランチョンミーティング
(京北ブルーシーフードランチを楽しみながら、各テーマからの報告・問題提起)
【オンライン**視聴**可】
- 13:20-13:50 ことすSDGsツアー【オンライン**視聴**可】
- 14:00-16:00 SDGs問答
(メインスピーカー:井植博士、角南博士、牧野博士+各グループ等からのインプット)
【オンライン**参加**可】
- 16:00-16:50 クロージング&ネットワーキング【オンライン**視聴**可】
- 17:00 チャーターバスで京都駅へ(18:15京都駅着予定)
※JRバスやレンタカーなどの利用も可能。京北に後泊も可能。

「食」セッション テーマリード予定者(敬称略と議論内容案)

- ・井植美奈子 京都大学博士、セイラーズ フォー ザ シー 日本支局理事長
- ・牧野光琢 東京大学教授
- ・徳岡邦夫 京都吉兆 総料理長
- ・永見靖 (公社)2025年日本国際博覧会協会”いのち輝く未来社会のデザイン”
企画局持続可能性部長
- ・水谷晃栄 京都府農林水産部水産課 技師 ほか

【内容】

持続可能な海洋資源の活用を考える上で「食」はとても重要です。持続可能性を大切に考える2025大阪・関西万博においても、調達基準の議論の中で、海洋資源が一つのテーマとなっています。その概要を確認すると同時に、その先を見据えたレガシー創出に向け、事例や課題を深掘りします。特に、京都に焦点を当てると、海から食卓まで、特徴ある「魚」文化が存在します。定置網漁、京料理、ブルーシーフード・・・持続可能性や文化の視点から、バリューチェーンを通じた関係性構築に向けたヒントを得たいと考えています。

「ごみ」セッション テーマリード予定者(敬称略)と議論内容案

- ・安藤悠太、光本年男、浅利美鈴 京都大学
- ・岩本雄平 象印マホービン(株)新事業開発室室長
- ・濱野敏寛 (株)リコー
- ・今村和志 荒川クリーンエイド
- ・小寺啓太 (公社)2025年日本国際博覧会協会”いのち輝く未来社会のデザイン”企画局持続可能性部脱炭素課 ほか

【内容】

プラスチックの海洋流入をゼロにするという世界の約束事「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の目標達成年が、2040年へと短縮されました。いずれにしても、ダメージを受け続ける自然環境や生態系を考えると、一刻も早い課題解決が不可欠です。万博に向けても、開催前からサステナブルアクションを盛り上げていくために「EXPOグリーンチャレンジ」が始まります。また、京都超SDGsコンソーシアムらが進める「ごみゼロ共創ネットワーク」でも、11月末に500日前の大掃除を予定しております。その説明会も兼ねております。是非とも、皆様、ご参加下さい。

「技術&イノベーション」セッション テーマリード予定者(敬称略)と議論内容案

- ・角南篤 笹川平和財団理事長
- ・前田裕二 NTT宇宙環境エネルギー研究所
- ・西本早希 エコ〜ると京大 ほか

【内容】

SDGsの達成に向けて、技術開発やイノベーションによる課題解決が世界中で模索されており、海に関しても例外ではありません。本セッションでは、SDGs目標14の「海の豊かさ」って何だろう？という本質的な問いに対して、学生それぞれの視点からの回答を提案します。それらを踏まえて、専門家の方々を交え、守るべき、再生させるべき「海の豊かさ」とは何か、解決すべき課題や求められるイノベーションは何か、について幅広く議論します。現在研究開発されている最新の技術紹介も交えながら、技術・イノベーションの可能性を探り、今後の我々のめざすべき方向性についてまとめたいと思います。

ランチメニューについて

持続可能な漁法として注目される「とりつくさない」定置網漁で獲れた、とれとれ新鮮な京都府の魚を中心とした特別メニュー。京北産のお子ねや野菜、川魚などで、森里海のつながりも感じて頂く予定。調理・提供では、地元・京北の料理人さんや、府内の高校生・大学生らが協力。漁の様子もオリジナル動画でご紹介します。



「京都の水産」 京都府水産事務所より

SDGs問答

SDGs問答は多様な方をゲストスピーカーとしてお招きし、「持続可能性・SDGs」をテーマに世代を超えて問答する企画の特別シリーズ展開。

テーマ:【EXPO2025にむけた海のSDGs会議】。

ゲスト(敬称略)

角南篤 公益財団法人笹川平和財団 理事長

井植美奈子 京都大学博士、セイラーズフォーザシー 日本支局理事長

牧野光琢 東京大学教授



【参考】京都超SDGsコンソーシアム(2019年～)

1300年の歴史を持つ町で、長く広い視点を持って、学び、考え、議論し、実践する。

活動内容

【SDGs問答】



毎月第4土曜日は様々なゲストを招いてSDGsに関するもやもやを問答する「SDGs問答」をオンライン配信

Youtube
はこちら→



【京都超SDGsシンポジウム】



SDGs達成に向けて、一部の人のみではなく、多くの人々が「自分事化」「みんなごと化」して行動していけるような、参加型シンポジウムを定期開催中(年1～2回)

【京都SDGsパートナー制度】



SDGs達成に向け、多様でより多くの実践者が京都のSDGsパートナーとして、活躍できる環境づくりを目指します

【ごみゼロ共創ネットワーク】



2025年大阪・関西万博にむけて、資源循環分野のネットワークを構築中!!
(詳しくは裏面をチェック)

【エコ～ると京大】

「持続可能なキャンパス」の実現を目指して活動する団体「エコ～ると京大」の学生が活躍中!



【京北プロジェクト】

持続可能な中山間地域を目指して、京都京北にてSDGsの発信拠点である京都里山SDGsラボ「ことす」を運営しています



お問い合わせ

京都超SDGsコンソーシアム事務局(河村、光本、浅利)

京都市左京区吉田本町京都大学物理系校舎北棟7F

HP: <https://eco.kyoto-u.ac.jp/sdgs/kyoto-times/> mail: mezase530@gmail.com



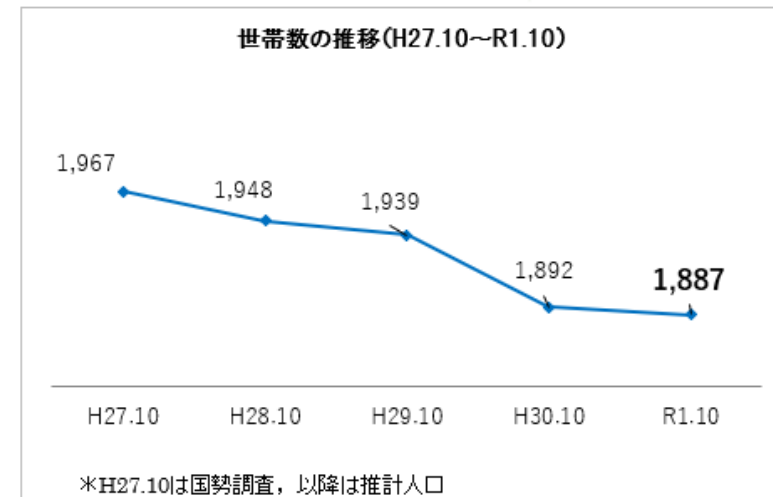
【参考】京北におけるSDGs実装への挑戦

- 1300年の文化都市としての歴史を持つ京都市は、持続可能性の面でも、国内外から注目される。
- しかし、京都市の中山間地域(京北地域)に目を向けると、**深刻な人口減少・超高齢化・産業衰退に直面**している。
- 京北地区は、平安京造都の木材を供給した伝承をもち、都心部を支える重要な里山である。今、**新たな里山と都市との関係を構築し、京北地域を維持しなければ、次の千年の京都の在り方が危ぶまれる**可能性もある。
- そこで、徹底して**地域及び将来世代に寄り添いつつ、幅広い「教育」を核に、産学公連携**で持続可能な地域モデルの構築を目指す。
- **京都で実現しモデルを示さねば**ならない。



京北未来かがやきビジョン(2015年策定)

既存目標:
5年で150世帯増
⇔現状:
4年で80世帯減





SDGsバレー化を目指した 京都里山SDGsラボ「ことす」



トラウデン
さんも1日館
長に！

2021年8月31日
テレワークエリア
OPEN!

京都里山 サテライトオフィス
SDGsラボ 入居企業・団体募集!

KYOTO SATOYAMA SDGs LAB

私たちと一緒に「ことす」にて、持続可能な地域・社会の実現に向けた共創を！



【参考】ごみゼロ共創ネットワーク

窓口：京都超SDGsコンソーシアム(Team EXPO 2025 共創パートナー)

大阪・関西万博を越え、2050年カーボンニュートラル社会における資源循環の在り方についても、皆さんと一緒に考え、議論し、実践したいと思います！

2025年大阪・関西万博開催に向けたレガシーづくりの一環として、ごみゼロに向け、多様なプレイヤーを巻き込んだ共創のためのプラットフォームを構築します。具体的には、全国のクリーンアップ活動の優良事例の共有や効果の可視化、学術・技術分野との連携によるブレークスルー、上流対策を含む提言等を目指します。個々で保有するには「もったいない」熱意やノウハウを、ネットワーク化することで、2050年大阪ブルーオーシャンビジョン達成に向けた大きなムーブメントにつなげます。

